

【活動の主題】 いろんなスポーツや運動を楽しもう

【副題】 すこやかタイム（長休み）の充実

【学校名】 高島市立今津東小学校

1 本校の概要

本校児童の多くは、体を動かしたり運動したりすることが好きである。昼休みには全校児童のほとんどが運動場など外で遊んでいる。しかし、遊びには偏りがあり、男子はサッカー、女子は鬼ごっこやバレーボールが圧倒的に多い。その影響もあってか、体力テストの結果からは、投力や柔軟性などに課題があることがわかる。

同じ遊びや運動ばかりをするのではなく、他のスポーツにも楽しむ機会を意図的に設定し、子どもたちがいろんなスポーツに親しむ土壌を作りたいと考える。

2 取り組んだ内容

2校時と3校時の間に設定している長休み（20分間）に、意図的に体育科の学習と関連する運動や、ニュースポーツを主に4年生児童にさせた。

(1) ティーボール



4年生は体育科でベースボール型運動としてティーボールに取り組んだ。授業では打つ、ボールを捕って投げる難しさや楽しさを味わわせ、

児童が「もっとやりたい」と思うところで授業を終えた。児童の「もっとやりたい」という思いを、長休みに引き継がせて存分に楽しませた。本事業で新たに2セット購入したこともあり、4年生の多くの児童が交代で使いながら長休みのティーボールを楽しむことができた。

(2) モルック

本校は冬になると、積雪のため運動場が雪遊び以外に使えなくなる。室内でできるだけ大勢の児童が楽しむことができるのでと本事業でモルックを購入した。ま



ずは、4年生で楽しんだ。チームでどのあたりをねらうか相談したり、一緒に準備したり和気あいあいと楽しんでいる姿がうかがえた。今後は、全校たてわり遊びの場でも使えるようにして、全校児童が順に楽しむ機会を持つ

ようにしていきたいと考えている。

(3) 逆上がり練習補助ベルト



4年生の体育科では鉄棒運動にも取り組んでおり、その中で逆上がりは、できる児童とできない児童とにはっきりと分かれていた。できない児童にとって、できるポイントを説明したり、見本を見せたりしてもそのコツはつかみにくく

い。注文していた「逆上がり練習補助ベルト」が2学期後半に届き、さっそくできない児童を中心に体育科の授業で使ってみたところ、おなかが鉄棒から離れずに足先が上にまっすぐに上がる体験ができたことに驚いている様子があった。ティーボール同様に「もっとやりたい」と思うところで授業を終えると、長休みに続きを読むしている児童がたくさんいた。何度も練習しているうちに、補助ベルトなしでも逆上がりができるようになった児童が数人誕生した。

3 活動の成果

今年は4年生を中心に本事業で購入した物品を使つたが、4年生はどれにも楽しみながら主体的に取り組むことができていた。まだ、全校児童の一部しか使つていないので、他の学年でも使わせたい。モルックについては、今の4年生がルール等を説明しながら他の学年を巻き込んで使う場面を意図的に仕組んでいきたいと考えている。

